

ABEST21 eNEWS July 2009, No.12

ABEST21 理事長報告

6月4日、AACSBがシンガポールに開設したアジア事務所の開所式に出席し、ビジネススクールの認証評価についてアジア各国のビジネススクールのディーンと意見交換をしてきました。

6月5日、マレーシアのクアラルンプールにある Management & Science University の Faculty of Business Management & Professional Studies を訪問してきました。それは、同校ビジネススクールが3月25日開催の認証評価委員会でその受審申請が受理された関係で、同ビジネススクールの認証評価の受審の基本的事項について打合せをしてきました。

6月12日、2008年度 ABEST21 評議委員会が開催され、ABEST21 の2008年度活動報告がなされ、ABEST21 の事業活動報告、2008年度決算及び2009年度事業計画が承認されました。

6月27日、中国・瀋陽市にある東北大学工商管理学院の招きに応じ、工商管理学院の教授会の先生方に ABEST21 の認証評価システムについて講演をしてきました。

6月30日、中国・大連市にある東北財経大学工商管理学院の招きに応じ、工商管理学院の教授会の先生方に ABEST21 の認証評価システムについて講演をしてきました。

ABEST21 認証評価ニュース : No.12

2008年度認証評価の審査過程において認識された認証評価基準の一部改正(案)がまとめ、文部科学省への届出の準備をしています。主な改正点は重複していると思われる基準の内容の整理統合です。基本視点の内容を簡潔にし、基本視点と細目視点の内容の重複を整理し、81の細目視点を78の細目視点に整理統合をしたことです。一部改正に際しては、5月24日開催の専門審査委員会委員懇談会で評価基準の問題点を整理し、堀内委員長及び松尾副委員長とで問題点を整理し一部改正(案)を作成したものです。6月24日に文部科学省に一部改正(案)の事前説明をいたしました。最終的には ABEST21 の理事会の承認を得て文部科学省に届出をいたします。

ABEST21 ニュース

2008年度評議委員会は、6月12日、レイケイ南青山ビル会議室Aで開催されました。評議委員会は、ABEST21 事業活動の自己点検評価に対する第三者評価をする委員会です。ABEST21 評議委員会委員は、日比谷武氏(富士ゼロックス株式会社執行役員 CSR 担当人事部長)、家田武文氏(株式会社 NTT データ人事部人財開発担当部長)、盛田英粮氏(盛田アセットマネジメント株式会社社長)、佐藤有司氏(ソニー株式会社人事部門長)、谷川和生氏(株式会社東芝取締役執行役専務)、臼見好生氏(株式会社野村総合研究所人事部長)で、理事長の2008年度 ABEST21 事業活動、平成20年度文部科学省委託事業活動、経営専門職大学院認証評価事業活動等の報告に対する質疑応答を経て、今後の課題と改善計画について勧告を受けました。

ABEST21 会員校ニュース

・南山大学寄稿ニュース

7月に入り、春学期も終盤を迎えました。2年次生は春学期の必修としてプロジェクト研究I(グループ研究)を行います。履修プログラムごとにクラスを作り(3クラス)、学術教員と実務家教員の共同指導体制の下で3名から4名程度のグループを組み、グループ研究を進めていきます。全部で12のグループがありますが、「TPS(トヨタ生産システム)の導入に伴う各部門の意識改革」「愛知ブランド」再活性化の検討」「ある老朽化ビルのアートインキュベーション施設へのコンバージョンの検討」「ポर्टフォリオを使用した企業価値算出の試み」「中国進出の際のフィージビリティ・スタディ」など各グループ独自のテーマを文献調査、

アンケートや聞き取り調査等を用いながら研究を進めています。7月23日（木）夕方には名古屋キャンパスJ棟5階にて3クラス合同でグループ研究の報告会が一般公開で行われます。修了生や1年次生、専任以外の教員も参加し、後日になりますが優秀研究に対して表彰が行われます。（南山大学大学院ビジネス研究科ビジネス専攻主任、湯本祐司教授）

・復旦大学寄稿ニュース

5月31日から3日間、world class practices in management education conference が復旦大学管理学院で開かれました。国内外から15カ国の120人の商学院長とマネジメント専門の教育担当者が出席しました。コンファレンスが「Empowering Business Education in a New Era」をテーマにして、「経済環境およびアジア商学院に対する影響」、「現在の商学院がわれわれに何をもたらしてきた」、「アジアとAACSB」および「アジア地域商学院とAACSB認証」など4つのテーマについて、話題を展開しました。今回のコンファレンスが当面の金融危機下で、いかに教育の発展趨勢を把握するか、グローバルマネジメント教育に直面している危機とチャレンジなどについて議論しました。また、アジア商学院将来の発展について意見交流もしました。アメリカPurdue University 管理学院院長兼 AACSB 董事会主席 Richard A. Cosier、復旦大学管理学院院長陸雄文、Johnson & Johnson（中国）投資有限会社総裁呉人偉などがコンファレンスに出席しました。（復旦大学管理学院、韓中和教授）

以上